

※全体の概要

音声コードの読み取りが可能な携帯電話開発。全ての視覚障害者が文字情報を暗号化した音声コード（＝文字情報を暗号化したコード）から音声情報を入手できる携帯電話の開発実証。携帯電話のカメラ機能を活用して、文字情報を暗号化した音声コードを読み取りできるインターフェースの研究開発を携帯電話事業者等と協力して、実証可能な携帯電話機プロトタイプを製作。その実証実験を当事者団体の日本盲人会連合等にて行う。

※試作した機器 携帯電話に音声コード読み取りシステムを実装

富士通社製の携帯電話プラットフォームに新音声コード読み取り機能を実装し、携帯電話のカメラを使用してはがきサイズの紙に印字された新音声コードを撮像して、携帯電話搭載の合成音声にて新音声コードに記録されたテキスト文章の読み上げをする。



図1 携帯電話に音声コード読み取りシステムを実装

※試作した機器 視覚障害者用読み取り補助器具（アタッチメント）

また、視覚障害者は新音声コードが印字された新音声コードの場所を特定することが困難な為に、印字位置を特定可能な補助器具（アタッチメント）を作成して読み取りが可能な状況を作り出す。



図2 視覚障害者用音声コード読み取り補助器具（アタッチメント）

※試作した機器 実証実験

当事者（視覚障害者）による実証実験の為に新音声コード読取り機能を実装した携帯電話を10台作成し、視覚障害者が印刷位置を特定できる補助器具（アタッチメント）を作成して、視覚障害者53名（日本盲人会連合、東京都盲人福祉協会、筑波大学附属視覚特別支援学校、東京都立文京盲学校、東京都立葛飾盲学校、東京都立八王子盲学校、神奈川県立平塚盲学校）のご協力により実証実験を行いました。



図3 視覚障害者による実証実験